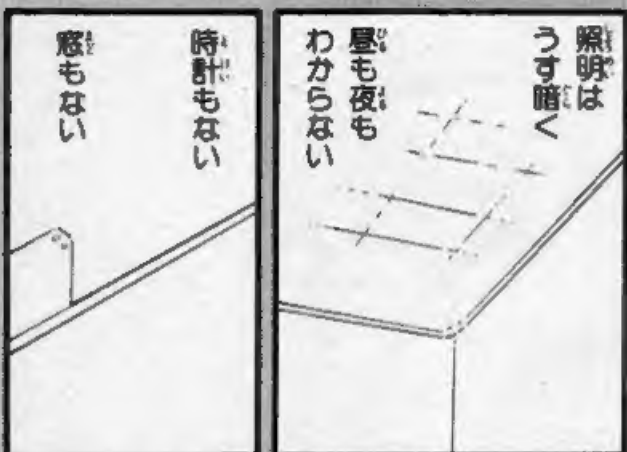
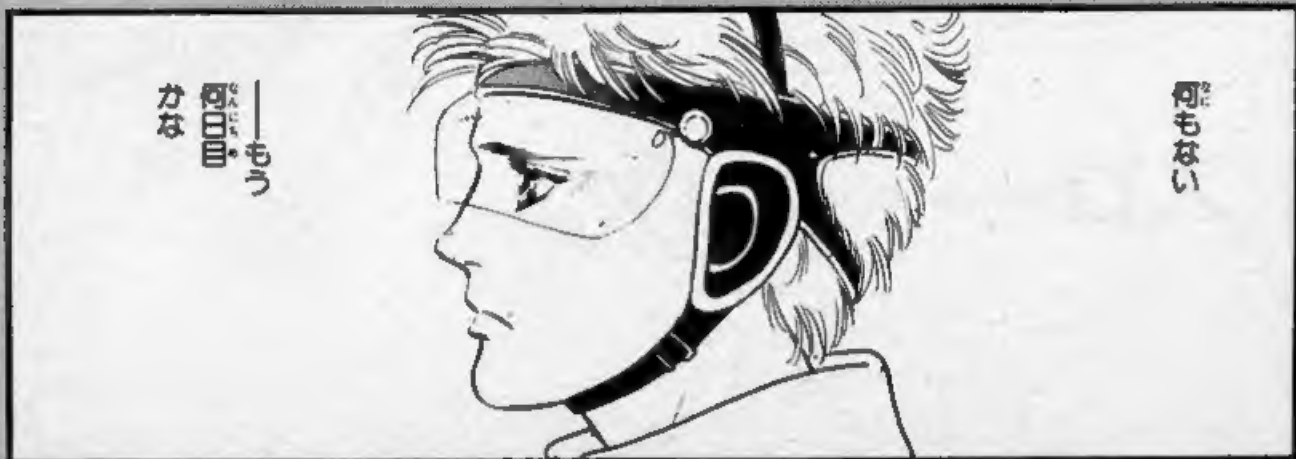
ここは実験室で
ぼくは実験に使われている
いわば被験体だ
実験室は地下にあり
音は何も聞こえない
照明はうす暗く
昼も夜もわからない
時計もない
窓もない
何もない
—もう何日目かな

これは　まるで
ゆっくりと……

死んでゆく
感じだ

スロー・ダウン

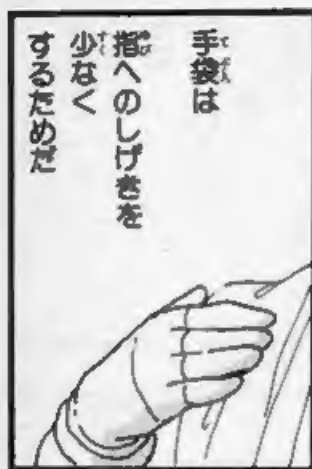
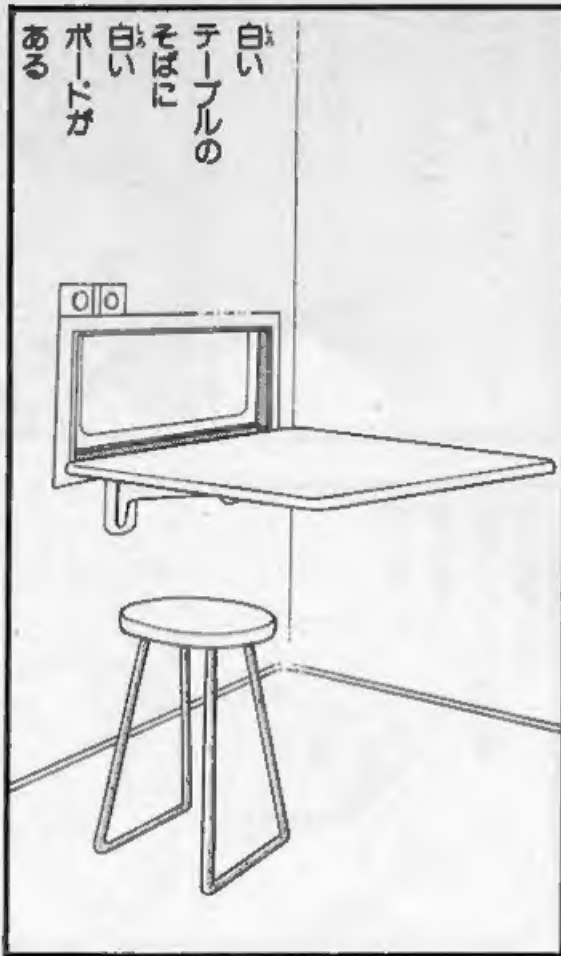
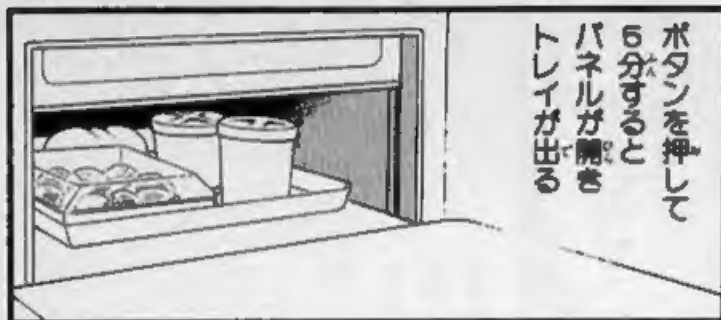
白いテーブルのそばに白いボードがある

ボタンを押して5分するとパネルが開きトレイが出る

機内食みたいなやつだ

耳にセンがしてあるので音はほとんど聞こえない

手袋は指へのしげきを少なくするためだ

もちろん壁にくみこまれたカメラでぼくの行動は監視されている

ふいたがフェルト地の床にしみができた
メガネにはわざわざくもりガラスが入れてあるので
見るしみはぼやけて見える

ぼくはこのしみが好きだ

壁のどこかにあるマイクがこのひとりごとを聞きとるだろう

ぼくは時どき0から120まで数える
0
1
2
3
4
時どき数えるようにと指示されていたのを思い出すのだ

正確に120秒で120を数えられるかのリズムの実験だ
壁の向こうで誰かがストップウォッチをもっている
99
100
101
…

……
……どこまで数えたっけ
ふう…

時どき120まで確かに数えたかどうかわからなくなる
集中力が落ちてきてるせいだ

こんなふうに集中力が落ちてきたら幻覚を見るようになるらしい
――この実験のパターンでは
まだ何も見ないな

すみにトイレがあるトイレに行くときは手袋を取っていい

トイレは監視されてはいないが
壁の向こうで尿が採取され分析される
体調をしらべるためだ

前写真で見たスカイラブのトイレみたいだな こりゃ

体調はどうだろう
こんな夜昼のない恒常環境に身をおくと
生物の24時間のリズムが変わると聞いた
一日が25時間とか30時間とかのサイクルになったり…

脳波をはかるベルトや服のあちこちについてる計器が
ぼくの心拍数呼吸数血圧体温を
壁の向こうのコンピューターに送り続けている

こういう実験の成果が

長期の宇宙旅行などに応用されるんだろうな

ロイド・ジョージ
!
え!?
声はコンピューター合成の無機質の声だ
ロイドきみはまだ実験を続行できるか?
……
ぼくの名前はルイ・ネルだよ
ロイド・ジョージという名に聞き覚えは?
あるけどぼくの名じゃないな
そうか続行しよう
ぼーっとなって暗示にかかりやすくなるころを見計らって人をハメようとしているな
……
……
ぼくは…
ロイド・ジョージかルイ・ネルか?
ルイ・ネルだと思うけど
もしもロイド・ジョージだったらどうしよう
しっかりこれも実験のうちだぞわかってるだろ
わかってる!

何かを
しようと
するが

1
2
3
4

何の
しげきもない
この
部屋では

だんだん

思考が
散漫に
なってくる

あ・あ

しみにも
あきて
しまった

う・う

ぼくは
まだ
生きてるかな

生きてる
おなかが
すくから

唯一の
しげきである
食事

カタン

キャッ
!
これは何だ？
これも実験か？
手だ！
手だったぞ！
しつれい
ロイド・ジョージ
ミスだ
続行する
…

あ
は
は
クスクス
ミス?
ボードの
ミスかな?

ぼくの名前は
ロイ・ネルだ
いや
ルイだ
ルイ・ネル!
もう
だまされ
ないぞ
これは
実験だ
部屋の外には
研究者や
大学の職員が
いる

いや
ロイ・ネル
これは
実験では
ない

この部屋は
宇宙船の
中にある
地球は
核戦争で
消滅した
きみひとりが
かろうじて
宇宙船で
脱出
したのだ

……

戦争で……

うそだ!
ちがう ちがう
うそだぞ!
何とでも言えるぞ!
ここは海底だ!
ここは空中だ!
ただ言うだけ
しゃべるだけなら
でも ぼくが
さっき
つかんだ手は
ほんものの
手だったぞ!

手?
何の
ことだ
女の
手だった!
確かに手だった!

手袋を
通して
確かに
ふれた!

これは
宇宙船じゃ
ない!
地下の
実験室で
外には
女がいる
そうとも!
でなけりゃ
何でぼくは
ここにいるんだ?

ほら
何日か前の
コーヒーの
しみだ
何日前かな?
だめだ
ひとりごとが
とまらない

そろそろ
限界かな
しかし
幻覚は
見ないな
変だな
そうだ
2分間推定を
やろう
1
2
3
4
5
6
…

キイッ
あれ
これはついに
幻覚か……
……

パチン
聞こえるか
10日目だ
実験は
終わりだよ
ルイ
……

ルイ・ネル
よく もった
わね
だいじょうぶ?
……

アクシデント
には
びっくりしたけど
きみが
手を
つかまれ
てね

あ
手だ

ほんものの
手だ

実験への協力ありがとうルイ・ネル

10日ぶりの外界だ！
右足
左足
何だかくらくらするな……

住みなれた街がまるではじめての場所みたい
まア 感覚遮断の実験だったんだからな
すぐ もとにもどるさ
さア TVを見るぞ
レコードを聞くぞ！
女の子と会うぞ
ディスコに行くぞ！
10日分のしげき！
しげきを

とりもどすぞ!!
聞いてるの？
ルイ・ネル
聞いてるの？

あ……

何ようにまにま笑って
地下室の実験で頭やられたの？
踊りましょうよ
あ……

どうしたの
わたしを見てよ
あ……

……ねえ……
ん？
ここはほんとに地球かい……
何言ってんの！ルイ
……きみは地球人ほんものの…？
SFやめてルイ！
へんだな……
何もかも…
実感がなくって……
うそみたいだ……
いったいこの世のどれほどが
ぼくにとっての真実だというのだろう
確かなものは何もない
何もないあの部屋とおんなじだ！
どうしたのよルイ・ネル！
ほんとのことは何もない
ぼくはひとりで死んでゆく

ぼくに
手をおくれ
──ほんものの
手を!

明日から
わたしが
実験室に
入るのよ
何日
辛抱
できるかしらね

研究所長の
奥さん
自らですか?
はじめて
でしょう?
ドキドキよ

ルイ・ネル
記録係のほうに
参加して
くれないか
仕事は
かんたんさ

薬の
用意とか
食事の
用意とか
……

ええ

ええ
やります

ぼくたちは

果てしない
永遠の眠りから
目覚めるのだ
——

〈おわり〉 プチフラワー 1985年1月号に掲載